

## ⑯ 公表特許公報(A)

昭63-502017

⑮ 公表 昭和63年(1988)8月11日

① Int. Cl.<sup>4</sup>B 63 H 9/04  
9/06

識別記号

庁内整理番号

A-7723-3D  
A-7723-3D

審査請求 未請求

予備審査請求 未請求

部門(区分) 2(5)

(全 7 頁)

⑯ 発明の名称 帆走翼

⑰ 特 願 昭61-500066

⑱ 出 願 昭60(1985)12月5日

⑲ 翻訳文提出日 昭62(1987)8月4日

⑳ 国際出願 PCT/US85/02407

㉑ 国際公開番号 WO87/03553

㉒ 国際公開日 昭62(1987)6月18日

㉓ 発明者 マグルーダ、トマス・エイ

アメリカ合衆国97031オレゴン州ホード・リバー、ビー・オー・ボ  
ックス 89

㉔ 発明者 クローウエル、ロバート・エル

アメリカ合衆国28605ノース・カロライナ州ブローイング・ロッ  
ク、ルート 2、ボックス 87

㉕ 出願人 マグルーダ、トマス・エイ

アメリカ合衆国97031オレゴン州ホード・リバー、ビー・オー・ボ  
ックス 89

㉖ 出願人 クローウエル、ロバート・エル

アメリカ合衆国28605ノース・カロライナ州ブローイング・ロッ  
ク、ルート 2、ボックス 87

㉗ 代理人 弁理士 山崎 行造 外3名

㉘ 指定国 AT(広域特許), AU, BE(広域特許), CH(広域特許), DE(広域特許), FR(広域特許), GB(広域特  
許), IT(広域特許), JP, NL(広域特許), US

特許(内容に変更なし)  
請求の範囲

1. a. 乗手を支持するようにされた胴体  
b. 飛行方向にほぼ整合する対称軸線を有し、ロール軸、ピッチ軸およびヨー軸の回りに運動自在である翼、  
c. マスト  
d. 前記マストを前記胴体に連結する下方継手、  
e. 前記マストに対してロール方向に前記翼を駆動させるように前記翼を前記マストに連結するが、ピッチ方向の相対運動に対しては拘束されており、それにより中間の揚力位置を経て左舷タック位置と右舷タック位置との間で前記翼をロール(横揺れ)させることができる、上方継手;  
を有し、前記継手の1つがヨー(横揺れ)方向の相対運動を与える帆走装置。
2. 前記継手は、前記マストと胴体の間でロールおよびピッチ方向の相対運動を可能にするが、前記マストから胴体へ引張り力および圧縮力を伝達する自在継手である、請求の範囲第1項に記載の帆走装置。
3. 前記胴体は、それが水中を運動する時に乗手を支持するようにされたサーフボードである、請求の範囲第2項に記載の帆走装置。
4. 前記上方継手はさらに180°を超えてロール方向に駆動しないように拘束され、それにより中間揚力位置を経て最大左舷タック位置と最大右舷タック位置の間で前記マストに対して前記翼をロールさせることができ、

最大左舷タック位置と最大右舷タック位置において前記翼およびマストが一体でロールする、請求の範囲第3項に記載の帆走装置。

5. 対称軸線の両側にあつて、前記翼をロールさせるように乗手によって操作し得る手動制御支柱を有する、請求の範囲第4項に記載の帆走装置。

6. a. 帆

b. ほぼ硬質の支持材

c. 前記帆を前記支持材上に張るための装置;

を前記翼を含む、請求の範囲第1項に記載の帆走装置。

7. 前記ほぼ硬質の支持材からはほぼ前記対称軸線にそって抜き差し自在に延長される支柱と、グープと、前記抜き差し自在に延長される支柱と前記翼の間で前記グープを張る装置と、を含む引込み式前縁フラップを前記翼が有する、請求の範囲第5項に記載の帆走装置。

8. 前記制御支柱が前記帆と前記胴体の間で前記翼のほぼ硬質の支持材に取付けられ、前記マストに係合するように配置され、最大左舷位置と最大右舷位置にて前記翼およびマストの間の駆動を制限する請求の範囲第6項に記載の帆走装置。

9. 前記翼が90°~160°の2面角を有する、請求の範囲第8項に記載の帆走装置。

10. a. 胴体が水中を運動している時に乗手を支持するようにされたサーフボード胴体、

b. 前記胴体に対するマストの自在駆動を可能にし、